

平成 26 年度 第 1 回展示会 「在住ブラジル人の今－担いあう関係」開催報告

市民国際プラザ

【1 開催概要】

日 時： 2014 年6月25日(水)～7月25日(金) 9:30～17:30 (※土日を除く)

来場者数： 280名 <内訳:自治体199名、NGO45名、その他36名>

【2 展示内容】

今回は、ブラジルにおいて開催されるサッカーワールドカップに関連し、在住ブラジル人、サッカーに関わるあらゆる分野でサポートする NGO/NPO の活動を紹介した。

◆「在住ブラジル人にとって住みやすい街づくり」 横浜市鶴見区と NPO 法人 ABC Japan ◆

NPO 法人 ABC ジャパンは、横浜市鶴見区在住のブラジル人によって 2000 年に設立された団体で (2004 年に法人格取得)、地域のブラジル人や南米出身者向けの生活相談や日本語教室、子どものための教育活動、地域社会との交流活動等を行なっている。また、2009 年に全国のブラジル人コミュニティと連携して、NNBJ(在日ブラジル人全国ネットワーク)を立ち上げ、ブラジル政府や日系人団体との連絡調整も行っている団体である。

学習支援教室、日本語教室、被災地支援などの活動を紹介。

横浜市鶴見区と協働で「外国につながる子どもの保護者向けしおり」(小学校版、中学校版、それぞれ 6 言語翻訳)を作成した。



「つるみ DE 多文化」は鶴見区役所が作成している鶴見区の外国レストランの紹介。



「外国につながる子どもの保護者向けしおり」は自治体関係者にとっても好評であった。



NPO 法人 ABCJapan、安富祖氏、渡辺氏

◆ 「在住ブラジル人が担い手となる人材育成」 グローバル人材サポート浜松 ◆

一般社団法人グローバル人材サポートは、在住外国人の社会的自立と高度人材化にむけた日本語教育や資格取得のための学習・就労サポート、企業内研修を行っている静岡県浜松市の団体である。

多文化コンシェルジュの育成、介護初任者研修の開催の紹介



介護初任者研修の修了者の皆さんは現場で働き始めており、優しい笑顔で心をこめたケアサービスに利用者さんや施設の皆さんからも高い評価を得ている。



日本語が中級以上レベルの外国人を対象に、彼らが多文化コンシェルジュとして社会参画できるような講座を開催。



◆ 「サッカーを通じて国際協力」 ◆

①THAN 球プロジェクト

使わなくなったサッカーボールを南アフリカやカンボジアに送っている団体である。現地でサッカー教室も開催している。



THAN 球プロジェクト代表 森直之氏

②わかちあいプロジェクト ASPIRO :

フェアトレードのサッカーボールの開発、販売を行っている団体。世界のサッカーボールの約70%がパキスタンでつくられており、1つ1つ手縫いであるが、労働は安く、児童労働の温床になっている状況もある。こうした労働環境を改善し、児童労働をなくすための働きかけの1つとして、フェアトレードサッカーボールがある。フェアトレードサッカーボールは、通常の支払いとは別に奨励金が支払われ、生産地パキスタンの子供の教育や労働者の福祉に使われ、地域の発展に貢献している。



プロ仕様サッカーボール



以上